



「太高。プライド」

校長 丸橋 覚

新型コロナウイルス感染症の影響が一年以上に及ぶ中、最近では、学校での授業や部活動、学校行事など、コロナ対策を十分に行いながら、可能な限り学びを止めない取組が始まっています。

こうした厳しい制約を強いるコロナ禍の中で、明るいニュースも飛び込んできました。

4月に入って、春季大会や高校総体、インターハイ県予選などが、無観客を条件に開催され、多くの部活動が躍進しました。中でも、硬式野球部の春季大会ベスト4の快進撃、アーチェリー部、テニス部のインターハイ出場などは、太高生の日々のたゆみない努力が結実した成果であると大変うれしく思っています。

また、足利高校との対抗戦が昨年を最後に幕を閉じる一方で、新型コロナウイルスの影響で中止となった文化祭の代替行事として、校内投票をした結果、新たな校内体育祭「第1回煌焔祭（こうひんさ

い）」が開催され、全校生徒約830人が七つの縦割り団に分かれて、応援合戦や綱引き、全員リレーなどの熱戦が繰り広げられました。

煌焔祭の名称は、太田高校の校風である文武両道から「文」と「武」を使った「焔」と、学校生活が「煌（きら）めくように」と願って前生徒会長が作った造語。企画から運営まで、実行委員を中心とした生徒主体の学校行事となっているところが素晴らしいと思います。

煌焔祭では、三年生が太高生はこうあるべきという「太高プライド」を大いに発揮してくれました。一、二年生は、三年生に怯むことなく全力で戦ってくれました。

煌焔祭を通して、「太高プライド」は、上級生から下級生に確実に受け継がれたことと確信しています。

「太高プライド」。

太高生は、この「太高プライド」を心に染み込ませ、自分を信じてチャレンジし続け

て欲しいと願っています。

保護者の皆様には、引き続き学校の様々な教育活動に対し、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

学年別全員リレー



竹取合戦



応援合戦